

## 令和2年度第3回 立川市入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和2年9月1日(火) 立川市役所 201会議室		
出席委員氏名	鈴木満 委員長、山田春紀 委員、榎本孝芳 委員		
審議対象期間	令和元年8月1日～11月20日		
抽出案件	工事 10件 委託 0件 総件数 10件	(備考)	
一般競争入札	工事 7件 委託 0件 総件数 7件		
特命随意契約	工事 3件 委託 0件 総件数 3件		
次 第	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 審議</p> <p style="padding-left: 20px;">令和2年度工事契約抽出案件について</p> <p style="padding-left: 40px;">〈年度開始前準備行為(令和2年2月)～令和2年7月31日〉</p> <p>(2) 報告</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 業種別工事・委託等契約の推移について</p> <p>3 その他</p>		
委員からの意見、質問及びそれに対する回答			
意見・質問	回 答		
<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 審議</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 平成31年度工事契約抽出案件について</p> <p style="padding-left: 40px;">〈年度開始前準備行為(令和2年2月)から7月31日まで〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度開始前準備行為(令和2年2月)から7月31日までに入札された、総価契約(以下、総価)・一般競争入札(以下、競争)の工事契約について、平成31年度の同一期間との比較結果を説明する。</li> <li>・総価・競争分の契約件数は21件(年度開始前準備行為0件)、新型コロナウイルス感染症抑止のため、4月9日から5月11日まで入札の告示を必要最低限に抑えたこともあり、平成31年度と比較して30件減少した。平均参加者数は5.1社から6.1社に増加、単純平均落札率は86.70%から84.26%で2.44ポイント減少した。</li> <li>・変動型最低制限価格は全件が算定対象で、算定した入札は13件で算定率は62%であった。地域要件は予定価格では17件が市内対象になるが、過去の状況から市内から広げた入札は6件あつ</li> </ul>		

<p>* 入札参加者の辞退者が多い案件は、何か理由があるのか。</p> <p>* 「立川市公共下水道緑川幹線改築（長寿命化対策）第3期工事」の資格要件の「内面被覆工法のうち、製管工法の施工実施許諾権を有する者」は、入札参加者を制限していないか。</p> <p>* 入札参加者の工事内訳書が不自然に一致しているものがある。競争性に疑問があるなら、都内から全国に地域要件を広げる検討をするしかない。</p>	<p>た。所在地区分は市内が14件で受注率は67%であった。また、くじ引きによる入札及び低入札案件（落札率が50%以下）はなかった。</p> <p>・落札率95%以上の総価・競争分7件について説明をする。 「立川市公共下水道緑川幹線改築（長寿命化対策）第3期工事」、「立川市立若葉台小学校新校舎建設工事（校庭整備）」、「立川市立若葉台小学校新校舎建設工事（屋外倉庫）」、「立川市錦町下水処理場1次処理設備最初沈澱池（No. 3, 4, 7, 8）池槽設備補修工事」、「立川市立立川第二中学校南側防球フェンス設置工事」、「立川市立西砂小学校普通教室改修工事」、「公園維持整備工事その1」</p> <p>・入札中止・不調対応以外の総価・特命随意契約（以下、特命）3件について説明をする。 「立川市総合リサイクルセンタークレーン用ケーブル補修工事」、「立川市清掃工場 焼却炉整備補修工事（その1）」、「立川市公共下水道管渠等維持工事」。</p> <p>* 設計図書を取り寄せてみたら施工時の制約などがあり、辞退している案件が多いと判断している。</p> <p>* 内面被覆工法製管工法にもいろいろな工法があるので、条件をつけたことで入札参加者を極端に制限したことにはならないと考えている。</p>
---	---

<p>(2) 報告</p> <p>ア 業種別工事・委託等契約の推移について</p> <p>* 入札参加者が多いと落札率が低く、入札参加者が少ないと落札率が高くなる、逆相関がはっきり出ている。競争性を高めるには、入札参加者を増やすことが必要だということの意味している。</p> <p>3 その他</p> <p>* 契約・倫理改革評価委員会で追加工事についても入札等監視委員会の審議対象にすべきと提案があった。それに対して市はどのような考えを持っているのか。</p>	<p>・平成31年度工事契約及び委託等契約（総価・競争）の落札率上位10業種について、過去5年間の推移で特徴的な点を説明する。</p> <p>【上位10業種】</p> <p>（工事契約）機械器具設置、水処理装置、ガードレール、造園、道路舗装工事、一般土木工事、下水道施設工事、建築工事、エレベーター、道路標識設置</p> <p>（委託等契約）設備設計、産業用機械器具類、医療用機械器具、害虫駆除、環境関係測定機器保守、下水道管路内TVカメラ調査業務、測量、広告代理、情報処理業務、什器・家具</p> <p>・第2回入札等監視委員会で指摘のあった委託等契約の高落札率の業種（管渠清掃）について、市及び他市の入札状況を報告する。</p> <p>* 追加工事の変更契約についても抽出して、入札等監視委員会で審議していただければと考えている。</p> <p>・次回の開催は10月23日（金）午前10時</p>
---	--